

「精華町の環境 令和3年度(2021年度)の報告」に寄せられたご意見と本町の考え方

番号	寄せられたご意見	本町の考え方
1	<p>放置竹林の竹を燃料とするバイオマス発電をリーディングプロジェクトのひとつとして是非検討してほしい。</p> <p>基本計画の目標像の一つ～「資源・エネルギー」が巡るまち～では、資源とエネルギーを大切にし、資源とエネルギーを有効に利用する、とあります。</p> <p>また、～「環境・経済の循環」が興るまち～では、地域資源の活用がうたわれています。</p> <p>放置竹林の竹を燃料とするバイオマス発電は、地域資源である竹を活用できエネルギーの地産地消につながるプロジェクトだと思います。</p> <p>併せて、放置竹林による景観悪化の解消、里山林に侵入した竹を除伐することで林が復活し生物多様性の復元につながります。</p> <p>田畑近くの林内が明るくなれば、イノシシやシカとの距離を取ることが出来、獣害の防止にもなります。</p> <p>町内の放置竹林の竹に限らず、タケノコ農家さんから出る除伐した竹、精華町外の南山城地域の竹を集めれば、資源量は無限と言っても過言ではありません。</p> <p>こんな地域資源を活用しない手はないと思います。</p>	<p>放置竹林の竹を活用することは、地域課題解決や地域資源を活用という視点で重要なテーマであると考えます。</p> <p>一方、竹を燃料としたバイオマス発電は技術的に現在確立されていないことから、まずは、マテリアル利用での地域循環を考えていきたいと考えています。</p> <p>ご意見のように精華町外の南山城地域など広域的な取り組みについての可能性も含め、近隣市町村と連携しながら情報収集に努め、放置竹林を含めた地域資源の有効活用を研究し、引き続きこの分野での取り組みを推進いたします。</p>

以上